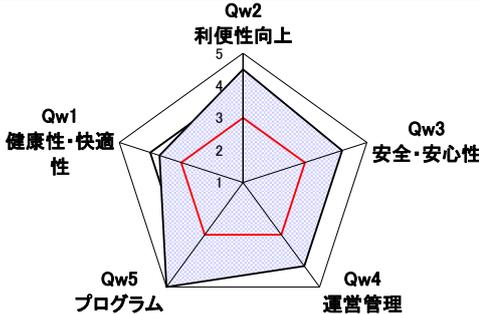
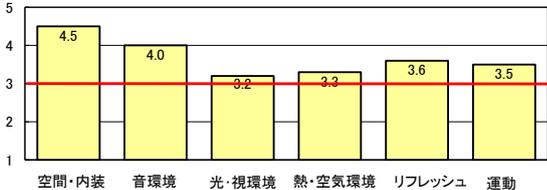
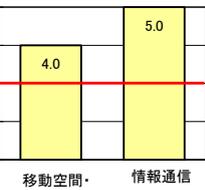
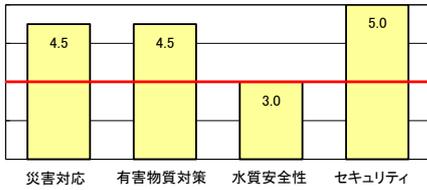
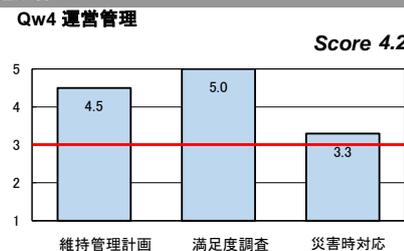
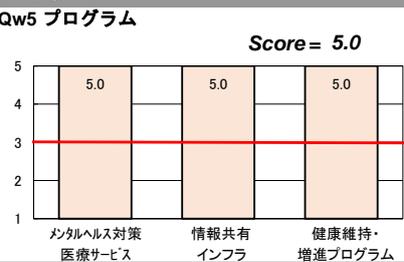
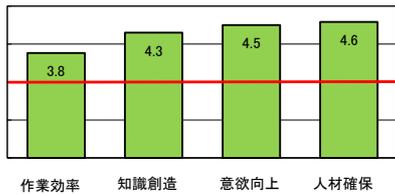


# CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO\_2021(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 評価パターン		
建物名称	いよぎん新南館	階数	地上11F	評価対象	パターン3
建設地	愛媛県松山市	構造	S造	<b>1-3 外観</b>	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	624 人		
地域区分	7地域	年間使用時間	2,750 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所	評価の段階	設計段階(竣工後1年未満)評価		
竣工年	2025年3月 竣工	評価の実施日	2025年4月17日		
敷地面積	2,070 m <sup>2</sup>	作成者			
建築面積	1,499 m <sup>2</sup>	確認日	2025年4月17日		
延床面積	13,741 m <sup>2</sup>	確認者			

2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>Rank: S</b>      75.9 /100</p>  <p>S ランク: ★★★★★ &gt; 75                      A ランク: ★★★★☆ ≧ 65                      B+ランク: ★★★☆☆ ≧ 50                      B-ランク: ★★☆☆☆ ≧ 40                      C ランク: ★☆☆☆☆ &lt; 40</p>	

2-3 中項目の評価(バーチャート)		
基本性能		
<p><b>Qw1 健康性・快適性</b>      Score: 3.7</p> 	<p><b>Qw2 利便性向上</b>      Score= 4.5</p> 	<p><b>Qw3 安全・安心性</b>      Score= 4.2</p> 
<p><b>運用管理</b></p> <p><b>Qw4 運営管理</b>      Score 4.2</p> 	<p><b>プログラム</b></p> <p><b>Qw5 プログラム</b>      Score= 5.0</p> 	<p>参考: 知的生産性の視点に基づいた評価</p> 

3 設計上の配慮事項		
総合		
■Create: コミュニケーションを活性化させ、新たな価値を創造するオフィスをつくります ■Connect: いよぎんホールやコワーキングスペースなど、地域と人がつながる場を提供します ■Eco-friendly: 木造木質やSDGsの取り組みを通じ、環境にやさしい環境建築とします ■Secure: 免震構造や最新セキュリティシステムにより、堅実で信頼性の高い建物とします		
<p><b>Qw1 健康性・快適性</b></p> 室内環境についてレイアウト変更の可変性や充実したワークプレイスの計画をしている	<p><b>Qw2 利便性向上</b></p> 揺れを抑える装置を導入し、かつ耐震性に優れた建物としている	<p><b>Qw3 安全・安心性</b></p> BCPを策定など災害時のための対策を実施している
<p><b>Qw4 運営管理</b></p> 維持保全計画や中長期保全計画を作成・運用することで、建物維持保全を行なっている	<p><b>Qw5 プログラム</b></p> メンタルヘルス対策や健康維持のための補助などワーカーの心と身体の健康に配慮している	<p>その他</p>

CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版		バージョン CASBEE-WO_2021(v1.1)	
いよぎん新南館		欄に数値またはコメントを記入	
スコアシート			
配慮項目		環境配慮の概要記入欄	評価点
総合評価			4.0
Qw1 健康性・快適性			3.7
1 空間・内装			4.5
1.1 レイアウトの柔軟性	1.1.1 空間の形状・自由さ	執務室の形状が整形であり一体的な執務空間として使用可能	5.0
	1.1.2 荷重のゆとり	事務室の積載荷重4500N/㎡以上であり、事務室内にHDZを計画	5.0
	1.1.3 設備機器の区画別運用の変換性	空調照明設備がレイアウトに対応した区画に分けて運用可能	4.0
1.2 知的生産性を高めるワークスペース		「集中」「コミュニケーション」「リラククス」の場を計画している	4.0
1.3 内装計画	1.3.1 専有部の内装計画	木材を積極的に取り入れるなどの取組みを行なっている	5.0
	1.3.2 共用部の内装計画	リフレッシュスペースは緑を取り入れた内容計画としている	5.0
1.4 作業環境	1.4.1 オフィス什器の機能性・選択性	自席以外の執務場所の提供を行なっている	4.0
	1.4.2 OA機器等の充実度	セキュアプリントを採用している	5.0
1.5 広さ			3.0
1.6 外観デザイン		建物高さ、壁面位置など周辺のまちなみにバランスよく調和させている	5.0
2 音環境			4.0
2.1 室内騒音レベル		室内騒音レベル45dB以下	4.0
2.2 吸音		床、天井の二面に吸音材を採用している	4.0
3 光・視環境			3.2
3.1 自然光の導入		開口率20%以上	5.0
3.2 グレア対策	3.2.1 開口部のグレア対策		3.0
	3.2.2 照明器具のグレア対策		1.0
3.3 照度		照度500lx以上1000lx未満	4.0
4 熱・空気環境			3.3
4.1 空調方式及び個別制御性			3.0
4.2 室温制御	4.2.1 室温		3.0
	4.2.2 外皮性能	窓システム、外壁等に対し室内への熱の侵入に対して十分な配慮をした	5.0
4.3 湿度制御			2.0
4.4 換気性能	4.4.1 換気量	30㎡/人以上の換気量を確保している	4.0
	4.4.2 自然換気性能		3.0
5 リフレッシュ			3.6
5.1 オフィスからの眺望		事務室天井高2.7m以上を確保している	4.0
5.2 室内の植栽・自然とのつながり			2.0
5.3 室外(敷地内)の植栽・自然とのつながり		在来種を主に植栽計画を行なっている	5.0
5.4 トイレの充足性・機能性			3.0
5.5 給排水設備の設置自由度			3.0
5.6 リフレッシュスペース		ウォーターサーバーを備えた複数タイプのリフレッシュスペースが計画されている	5.0
5.7 食事のための空間		建物内に快適な食事や軽食を取れるスペースがある	4.0
5.8 分煙対応、禁煙対応			3.0
6 運動			3.5
6.1 運動促進・支援機能		多目的トイレにフィッティングボードを設置している	4.0
6.2 階段の位置・アクセス表示			3.0
Qw2 利便性向上			4.5
1 移動空間・コミュニケーション			4.0
1.1 動線における出会いの場の創出			3.0
1.2 EV利用の快適性		エレベーターの安全・耐震基準への対応を行なっている	5.0
1.3 バリアフリー法への対応		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0
1.4 打ち合わせスペース		専有部において打ち合わせスペースが足りている	4.0
2 情報通信			5.0
2.1 高度情報通信インフラ		OA707かつOAコンセント容量40VA/㎡以上を確保している	5.0

<b>Qw3 安全・安心性</b>			<b>4.2</b>
<b>1 災害対応</b>			<b>4.5</b>
1.1 耐震性	1.1.1 躯体の耐震性能	建築基準法に定められた耐震性の50%増の耐震性を有する	5.0
	1.1.2 免振・制振・制震性能	揺れを抑える装置を導入し、部分的に内部設備保護が図られている	4.0
	1.1.3 設備の信頼性	非常用発電機・UPSを設置している	4.0
1.2 災害時エネルギー供給		非常用発電設備があり、基幹機能・共用部・専有部に対し電力供給	5.0
<b>2 有害物質対策</b>			<b>4.5</b>
2.1 化学汚染物質		建基法を満たし、かつ建基法規制対象外建材をほぼ全面的に採用	4.0
2.2 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材を4つ以上使用	5.0
2.3 有害物質の既存不適格対応	2.3.1 アスベスト、PCB対応		-
	2.3.3 土壌汚染等対応		-
<b>3 水質安全性</b>			<b>3.0</b>
3.1 水質安全性			3.0
<b>4 セキュリティ</b>			<b>5.0</b>
4.1 セキュリティ設備		防犯カメラ、機械警備システム、入退室管理システムを採用している	5.0
<b>Qw4 運営管理</b>			<b>4.2</b>
<b>1 維持管理計画</b>			<b>4.5</b>
1.1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計を行なっている	5.0
1.2 維持管理用機能の確保			3.0
1.3 維持保全計画		維持保全計画を作成している	5.0
1.4 維持管理の状況	1.4.1 定期調査・検査報告書		-
	1.4.2 維持管理レベル		-
1.5 中長期保全計画の有無と実行性		中長期保全計画を作成している	5.0
<b>2 満足度調査</b>			<b>5.0</b>
2.1 満足度調査の定期的実施等		満足度調査を行ない、改善を実施している	5.0
<b>3 災害時対応</b>			<b>3.3</b>
3.1 BCPの有無			3.0
3.2 消防訓練の実施			3.0
3.3 AEDの設置		建物内に各階ではないが十分な台数の配置を行なっている	4.0
<b>Qw5 プログラム</b>			<b>5.0</b>
1 メンタルヘルス対策、医療サービス		健康診断・ストレスチェック実施率70%以上かつ衛生委員会によるサポート	5.0
2 情報共有インフラ		情報セキュリティ管理に関する規程を定めている	5.0
3 健康維持・増進プログラム		ウェアラブル端末を活用した健康管理ツール	5.0